

創刊に寄せて

大阪の地で生まれ、育てられた関西大学が創立130周年を機に設立した「関西大学なにわ大阪研究センター」は、関西大学内外の研究者による「なにわ大阪」に関する研究の成果を広く世に問い、研究の一層の進展を図るために、このたび本誌『関西大学なにわ大阪研究』を創刊いたしました。

関西大学なにわ大阪研究センターは、前身のなにわ・大阪文化遺産学研究中心、社会的信頼システム創生センター、大阪都市遺産研究センターの成果を受け継ぎ、人文科学、社会科学、自然科学の枠を越えて、あらゆる側面から学際的に大阪の過去と現在、将来を考えることをめざしています。

産声を上げたばかりの本誌ですが、今後は本センターの研究班による研究成果のみならず、なにわ大阪を論じる広汎な研究者による調査・研究の発表の場として成長させていきたいと考えております。本誌へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2019年3月

関西大学なにわ大阪研究センター長
杉本貴志